



那須

宮坂静生



秋晴や車掌がなにもせず通る
こころ寄する那須や九月の木下闇
秋風や殺生石のこゑ聞かな
弓箭きゅうせんの那須の藪蚊に眼を螫さされ
おくるみの子を拾ひあぐ那須花野
散りはじめ遊行柳も糞掃衣ふんぞうえ
棒アイス含めば遊行柳嗤わらふ
樵の実の降る白河の峠神



境木の杉儼くさし二所ヶ関
遠山の紺のゆるがず那珂川なにかがの鮎
秋の鮎水より迅く落ちにけり
下り築すつぽんぽんの水躍り
落鮎のいのち掠りて串通る
闇にとぶ金剛力のくもの糸
心眼にかかりてくもの糸真白
放射能避難区域の熊注意
花蕎麦の旦暮飯いいたて館村いたて追はれ来て